

そよかぜだより

令和2年9月発行



Vol.
49

発行元

島根県雲南市三刀屋町古城45-6

TEL(0854)45-0020 FAX(0854)45-2895

社会福祉法人雲南広域福祉会

◆就労支援事業所 しゃぼん玉工房

◆共同生活援助(介護サービス包括型)事業所 レインボーハイツ

◆相談支援事業所 そよかぜ館

◆地域活動支援センター パレット

◆児童発達支援事業所 さくら教室

◆雲南障がい者就業・生活支援センター アーチ

◆生活介護事業所 にじいろ



雲南広域福祉会では、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、就労支援事業所「しゃぼん玉工房」、生活介護事業所「にじいろ」、児童発達支援事業所「さくら教室」など、7つの事業所において、個別給付サービスの充実と、地域のニーズに応じた特色ある福祉サービスの提供や総合相談・専門相談の実施、創作・生産活動、交流活動、地域啓発活動、コミュニケーション支援の実施等を行っています。

しかしながら、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行う必要があることから、所長会などで対策を検討しています。高齢の利用者への対応として事業所を数日間休所したり、利用者の皆さまが楽しみにしてこられた行事や活動等を中止や延期する苦渋の決断を重ねながら、少しでも皆さまに喜んでいただける活動の場を提供していきたいという思いで日々取り組んでいるところです。

「私たちは、みんなの権利が守られ、未来ある人生を自分で選び、幸せを追い求められるよう、共に行動します」の理念の下、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指そうと職員一同頑張っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

令和2年9月

統括所長 藤原 靖浩



～ ‘20「ふれあいまつり」の中止について～

当法人では毎年、幅広い世代が障がいの有無にかかわらず楽しい時間を共有し、障がいの理解と偏見のない地域社会を目指して「ふれあいまつり」を開催してきました。

今年度も10月に開催する計画で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っていない中、皆さまの健康・安全を第一に考え、中止することといたしました。

中止という判断は大変心苦しいですが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

就労継続支援B型事業では

障がいのある方が、働く場として利用しながら自分らしい生活が送れるよう支援します。体調や希望に合わせて施設内外での作業を提供しています。

島根県内の「障がい者就労支援事業所」の工賃状況が公表されました。

コロナ禍の現在、工賃向上を目指すにも、厳しい社会情勢が続きますが、しゃぼん玉工房でも、創意工夫をしながら、引き続き工賃アップを目指し、利用者、職員一丸となって頑張っています。

令和元年度 平均工賃月額（就労継続支援B型）

島根県内123事業所	20,120円	（平成30年度より 448円増えました）
しゃぼん玉工房（B型）	28,784円	（平成30年度より1,679円増えました）

※詳細については「島根県障がい福祉課ホームページ」に掲載されています。

就労移行支援事業では

働きたいと希望する方に対して、就職するための支援から、就職したあとも安心して働き続けられるように支援を行います。

就職した会社で長く働き続けることができるよう仕事上のことだけでなく、生活面のサポートを行い会社に就職された後も引き続き応援していきます。

就労定着支援事業では

就労移行支援・就労定着支援交流会を開催しました！

7月18日にパレット交流室にて就労移行支援の利用者3名、就労定着支援の利用者4名が集まり交流会を開催しました。

お弁当を食べながら、グループワークを通して仕事の悩みや就職に向けて気になっていること、またコロナ禍での過ごし方などざっくばらんに話し合いました。

初めての交流会ということで皆さん緊張された様子も見られましたが、参加された利用者の方からは普段なかなか会うことのできない仲間たちと悩みを共有する良い機会になったとの感想をいただきました。

また今後も定期的に開催していきたいと思っております！



グループホーム レインボーハイツ

レインボーハイツ・いいしハイツ
こじょうハイツ・はるひハイツ

レインボーハイツでは

精神障がいや知的障がいのある方が一緒に暮らすことができます。みんなで楽しく暮らしていけるよう支援します。

グループホームでの生活の様子を紹介します！



食事の様子

- ～今日の献立～
- 夏野菜カレー
 - 福神漬け
 - 野菜サラダ
 - 枝豆



～利用者の声～
バランスのとれた
食事でおいしいです

利用される方の誕生日
には特別メニューで
みなでお祝いします♪

コロナ禍の中、利用者の方から、自分たちも何かできる応援したい！との声があがり、
“うなん飲食応援事業”を利用し、
「お好み焼き」「お寿司」をデリバリーしました！



- ～誕生日メニュー～
- お寿司
 - 煮しめ
 - すまし汁
 - スイカ

相談支援事業所 **そよかぜ館**

住所：雲南市木次町下熊谷1259-1
電話：0854-42-8011

そよかぜ館では

身体障がい、知的障がい、精神障がい、高次脳機能障がい、発達障がい、難病などのある方やお子さん、その家族から相談を聞き、支援を行います。

制度紹介

平成28年4月1日から障害者差別解消法がスタートしました。
この法律では、「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。
そのことによって、障がいのある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

雲南圏域障がい者総合支援協議会雲南市地域部会では、権利擁護のワーキンググループの活動の一環として、今年度新しいリーフレットを作成しました。リーフレットは、市役所や総合センター、相談支援事業所などに配布してあります。



障がいのある人が、不当な差別的取扱いを受けた、合理的配慮を提供してもらえなかったなど、困ったことがあったら、市役所や総合センター、町の役場にご相談ください。

そよかぜ館では、障害者差別解消法啓発の取り組みを支援しています。

パレットでは

障がいのある方に軽作業や創作活動の機会を提供したり、仲間づくりや交流活動を支援しています。

活動の紹介 ～パレットタイム～

今回パレットタイムでは、砂絵をしました。色つきの砂を使って、思い思いの絵を描き、砂絵を作成していきました。



参加者の感想

- ・初めて砂絵をして最初は難しかったけど、色々な色を使って絵を完成させていくのがとても楽しかったです。もっと色々な題材があったら良かったと思います。
- ・ボンドがなかなか乾かず、色が分離して難しかったけど楽しかったです。

～訪問パソコン教室～

重度障がいのため、移動が困難な方を対象に訪問パソコン教室を行っています。講師が自宅を訪問し、パソコンの基礎など受講生の希望に応じて講習を行います。パソコン初心者の方でも、安心してパソコンに触れることができます。



講習の様子



利用者の声

念願だったパソコン講習をスタートすることができてとても嬉しいです。メールができるようになって、他者と交流できる喜びを感じています。これからもどんどん新しいことを覚えていきたいです！

～出張ピアサロン～

身体に障がいのある方を対象に地域に出向いて活動をしています。8/26は、広告紙を使った「かごづくり教室」をしました。事前準備等では参加者にも協力してもらい、当日はボランティアさんを含め参加者同士で教え合いながら、かごづくりをしました。



参加者の感想

- ・大変だったけど、つつい没頭して夢中になって作ってしまいました。今日の続きを家でしようと思います！
- ・初めは難しかったけれど、コツをつかむと楽しくなり、家でも作りたかったです。



さくら教室では

育ち方がゆっくりなお子さんのため、一人ひとりの様子に合わせて、※療育を行っています。日々行う遊び、活動を通して、持っている力を引き出し、ふだんの生活や人との関わりの中で活かせるよう支援します。

※療育とは・・・社会的に自立できるように取り組む治療と保育、教育のことです。
早期に始めることが有効とされています。

～コロナ禍での利用の様子～

感染症拡大防止対策のため休校、休園になった3～5月や例年よりも短くなった夏休みには、午前中から児童を受け入れました。イラストなどを使った張り紙、紙芝居などで、どのように生活すれば良いかをわかりやすく伝えました。手洗いや消毒をし、密にならないよう席の配置をし、こまめに換気もしました。放課後等デイサービス事業では、例年よりも外出の回数を控え、レタス、キュウリ、ナスなどの野菜作り、収穫して調理する一連の食育活動をしました。保護者からは、普段食べにくい食材が食べられて良かったとの声も聞かれました。ラジオ体操、プール活動などの体を使った活動、身近に出来る体験活動を増やしました。

今後も様々な工夫をこらし、楽しく参加できるようにしていきます。



雲南障がい者就業・生活支援センターアーチ

住所：雲南市木次町下熊谷1259-1
電話：0854-42-8022

アーチでは

身体障がい、知的障がい、精神障がい、高次脳機能障がい、発達障がい、難病などのある方で、これから働きたいと考えている方や、現在働いている方の仕事や生活に関する支援を行います。

働く生活を続けるためにできること

コロナ禍の今、不安を抱えながらお過ごしの方もおられるかと思いますが、今だからこそできることもあります。この機会に生活を振り返り、自分にできることに取り組んでみてはいかがでしょうか。

例えば・・・ ◎睡眠をしっかりととりましょう

□寝る前1時間はスマホやゲームはやめましょう。

◎日中は体を動かしましょう。

□洗濯や掃除などの家事も体力づくりに有効です(無理のない範囲で)。

◎バランスの良い食事をとりましょう。

□食べ過ぎも食べなさ過ぎも健康を損ないます。

◎ストレス発散方法を見つけましょう。

□家でできる、一人でできるストレス発散方法がありますか。



できないことに目を向けてしまいがちですが、できることを探して前向きに過ごせるといいですね。

にじいろでは

生活に介護を必要とする方へ、日中活動のお世話やお手伝いをします。安心して日常生活を送るために、相談をお聞きします。一人ひとりに合わせた活動を通じて、自分らしく生き生きと過ごすことができるよう支援します。

6月1日（月）太極拳リズム体操にチャレンジしました！

“太極拳の動作の特徴”をふまえながら上下、前後、左右にゆっくりと重心を合わせ、呼吸も整えながら行いました。ゆっくりと全身を動かし、リラックス効果を感じたひとときでした。

利用者さんからは「普段、全身を使って体を動かす機会が少ないので、意識して動かすことができた」「呼吸を意識してやってみた。よく眠れた」などの感想がありました。

コロナ禍で外出が制限される中、初めて取り組んだ太極拳は、体を動かすことで自律神経が高まり、健康維持の良い時間となりました。



6月12日（金）恒例の笹巻づくりを行いました！

当日は、葉の選別、洗浄や団子づくりを16名で分担して行いました。慣れた手つきで手際よく、出雲地方に古くから伝わる本巻きを披露された利用者さんもおられました。簡単な巻き方を職員が紹介すると、各々、やりやすいやり方であっという間に100本の笹巻が出来上がりました。砂糖醤油やきな粉をつけて食べ、皆さんで旬を味わいました。



～みんなのひろば～



Ｔシャツの竿に揺れたる秋日和
(雲南市 A・Kさん)

俳句
はいく

サイレント映画のやうにゆっくりと
一夜の空を渡る満月
(雲南市 A・Kさん)

短歌
たんか

